

あなたの隣の発達障害

信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室
附属病院子どものこころ診療部

本田秀夫

1

発達障害とは？

- 行動特性になんらかの特記すべき異常がある
- その異常は乳幼児期からみられ，成人後も残る
- その異常が要因となって，生活に支障をきたす



2

発達の「異常」とは？

発達が

正常でない・・・間違い 悪い

通常でない・・・少数派

3

神経発達症群（DSM-5）

- 知的能力障害群
- コミュニケーション症群
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如・多動症
- 限局性学習症
- 運動症群
- チック症群
- 他の神経発達症群

4

知的能力障害（知的発達症／知的発達障害） Intellectual Disability (Intellectual Developmental Disorder)

概念，社会性，実用性の領域における知的機能と適応機能の両方に欠陥がある。

- A. 論理的思考，問題解決，企画，抽象的思考，判断，勉強，経験学習などの知的機能の欠陥
- B. 個人の自立と社会責任に関する発達および社会文化的標準に達しないほどの適応機能の欠陥
- C. 発達期の発症

5

限局性学習症／限局性学習障害 Specific Learning Disorder (SLD)

- A. 介入を受けても6か月以上持続する学習と学力を用いることが困難
 - 1. 読字が不正確あるいは遅い
 - 2. 読んだことの意味理解が困難
 - 3. 書字が困難
 - 4. 書いて表現することが困難
 - 5. 数の理解や計算が困難
 - 6. 数学的思考が困難
- B. 苦手な学力は生活年齢から期待されるより十分に低く，学業，職業成績，日常生活を有意に妨げる
- C. 学齢期からみられるが，学力への要求が本人の能力の限界を超えるまで明らかにならないかもしれない
- D. 知的能力障害，視覚や聴覚の異常，他の精神神経障害，心理社会的逆境，言語の熟達不足，不適切な教示では説明できない

6

注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害

(Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder; DSM-5)

- A. 機能または発達を妨げるような不注意および／または多動・衝動性
1. 不注意
 2. 多動および衝動性
- B. 症状のいくつかは12才より前に出現
- C. 複数の状況で基準が当てはまる
- D. 対人・学業・職業の機能を妨げたり質を低下させている明らかな証拠がある
- E. 統合失調症などの経過中のみに見られるものではない (例: 気分障害, 不安症／不安障害, 解離症／解離性障害, パーソナリティ障害, 物質中毒または離脱)

注意欠如・多動
(Attention-Deficit or Hyperactivity)
の特性

注意欠如・多動症
(ADHD)
の診断

7

自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害

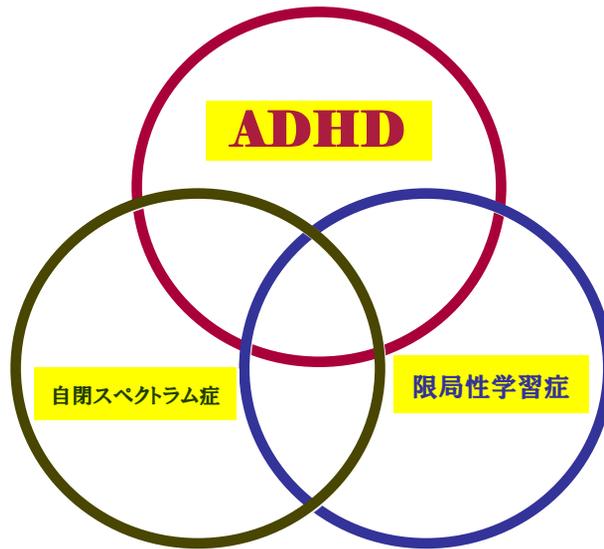
(Autism Spectrum Disorder ; DSM-5)

- A. 社会的コミュニケーションおよび対人的相互反応の持続的な欠陥
- (1) 相互の対人的-情緒的関係の欠陥
 - (2) 非言語的コミュニケーション行動を用いることの欠陥
 - (3) 対人関係を発展させ、維持し、理解することの欠陥
- B. 行動、興味、活動の限局された反復的な様式(以下の少なくとも2つ)
- (1) 常同的／反復的な運動、物の使用、会話
 - (2) 同一性への固執、習慣への強いこだわり、言語／非言語的コミュニケーションの異常な柔軟性
 - (3) 強度や対象が異常で、きわめて限定され執着する興味
 - (4) 感覚刺激への過敏さ／鈍感さ、環境の感覚的側面への並外れた興味
- C. 症状は発達早期に存在(対人的要求が本人の能力の限界を超えるまでは明らかにならないか、学んだ処世術で隠れるかも)
- D. 症状は社会的、職業的、他の重要な領域で臨床的に意味のある障害を引き起こす
- E. 知的能力障害(知的発達症)または全般的発達遅延ではない (知的能力障害または全般的発達遅延が診断される場合、併存診断するのではなく、併存診断する場合は全般的な発達遅延が低いとき)

自閉スペクトラム
(Autism Spectrum)
の特性

自閉スペクトラム症
(Autism Spectrum Disorder)
の診断

8



発達障害は、しばしば重複する

9

小児期から成人期にかけての 発達障害特性の変化

- 就学後に知能が大幅に上昇する症例は稀である
- 自閉スペクトラム(AS)の対人行動の質的異常は、軽減するがゼロにはならない
- ASの興味の限局やこだわり行動(RRB)は、形態や様式を変えながら持続する
- 注意欠如・多動(ADH)の多動・衝動性は、軽減するがゼロにはならない
- ADHの不注意症状は、幼児期・学齢期より青年期・成人期の方が問題となりやすい

10

症状の軽さと社会適応の良さは 必ずしも比例しない

症状が重い人

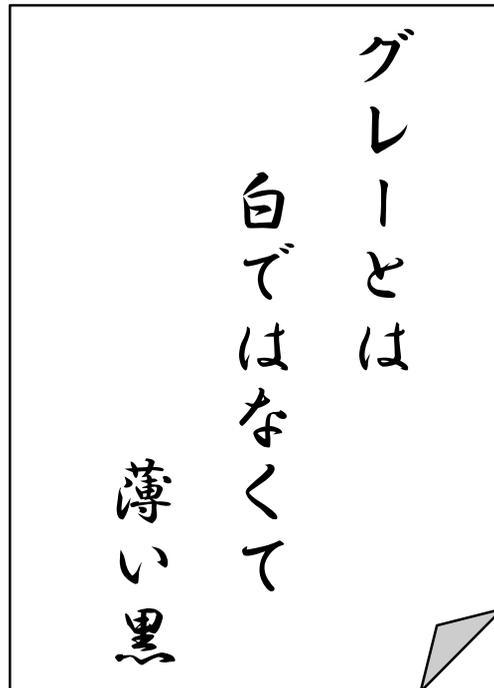
- あらゆるライフステージで本人，周囲とも困る
- 会話がかみ合わない，対人関係がとれない
- 頻繁にパニックを起こす

症状が目立たない人

- 幼児期前半は，何らかの発達の異常に保護者が気づくことがあるが，就学前後までに改善し，保護者はひと安心
- 本人は一貫して違和感を覚えながら生活し，前思春期頃に身体症状，うつ，不安，強迫などの精神症状，不登校，いじめ被害などが生じやすくなる

11

（56歳・男性／長野県）
本田秀夫



12

非障害自閉スペクトラム

(Autism Spectrum Without Disorder:ASWD)

ASの症状は残存している

しかし、社会適応は悪くない

むしろ適応の良好な例も少なくない

(本田, 2012)

13

発達特性と育ち方

- 発達特性は生まれつきであり、育て方が原因ではない
- でも、成人期までにどう育つかは、育て方次第

14

育ち方の4タイプ

- 特性特異的教育タイプ
- 放任タイプ
- 過剰訓練タイプ
- 自主性過尊重タイプ

15

特性特異的教育タイプ

- 個々の発達特性に応じて必要な課題
- 本人が興味をもって取り組める手法
- 少しの努力で短期間に達成可能な目標設定
- 他者に気軽に相談できる環境の提供

16

放任タイプ

- 発達特性に対する理解が全く得られない環境
 - 通常の子育て・教育環境
 - 子どもがネグレクトされている環境
- 場当たりの対応になりがち
- さまざまな形で頻繁に周囲と軋轢

17

過剰訓練タイプ

- 発達特性を周囲が否定
- 苦手領域の克服のため、本人に過重な課題を与える
- 本人が好きなことや得意なことは認めない

18

自主性過尊重タイプ

- 支援者が本人のストレス軽減だけを重視
- 何の教示もせずすべて本人の意志にまかせる
- 学校の成績が優秀なケースなどに多い

19

児童期に発達特性に気づかれなかった人たち

- 身体症状症，不安症，強迫症，適応障害，気分変調症，複雑性PTSD，解離，摂食障害，ゲーム・インターネット・ギャンブル等への依存など，多彩な精神症状や行動の問題を呈する（いわゆる「二次障害」）
- これらの精神症状を主たる問題として経過を追っているうちに，背景にあるわずかな問題として発達特性が浮かび上がってくることもある
- 本人が発達障害ではないかと思って受診する場合でも，生活の支障が長期間続いていることによる二次障害を伴っていることが多い

20

雑談

「12月23日からE353系が営業運転を始めるらしいよ」

「3編成で、1日に4往復だって」

「E351系は振り子式で乗り心地が悪かったから、廃車でもしょうがないかも」

「本当！何編成？」

「え、じゃあ、E351系はどうなるんだろう。踊り子号に回ったりするのかな？でももうだいぶ古いから、廃車になるかもね」

「E353系は空気ばね式車体傾斜装置の導入で振り子式に比べて自然な乗り心地らしいから、楽しみだね」

… 相互的で、内容もしっかり噛み合っている

21

雑談

「うちの子ったら、きのう宿題を忘れたのよ」

「この間だって、先生が言ったことをなんにも聞かないで、ノートにも書いてないから、家で気をつけようと思ってもできないわ」

「あっ、もうこんな時間だからいかなくちゃ。じゃあ、またね」

「うちの子も、いつも忘れ物ばかりよ」

「うちの子の先生は、忘れ物チェック表というのを配ってるのよ。毎日それを見れば忘れ物しなくてすむはずんだけど、うちの子はそれも忘れるもんだから、困っちゃう」

「うん、じゃあね！」

… 形式は相互的、でも互いに自分のことしか話していない

22

コミュニケーションの目的

AS的コミュニケーション

情報を交換することが目的

興味のない話題では、会話の必然性がない

非AS的コミュニケーション

コミュニケーションをとること自体が主たる目的

会話を維持するために話題を仕入れることもある

→ **正常と病気ではなく、スタイルが多数か少数かの問題**

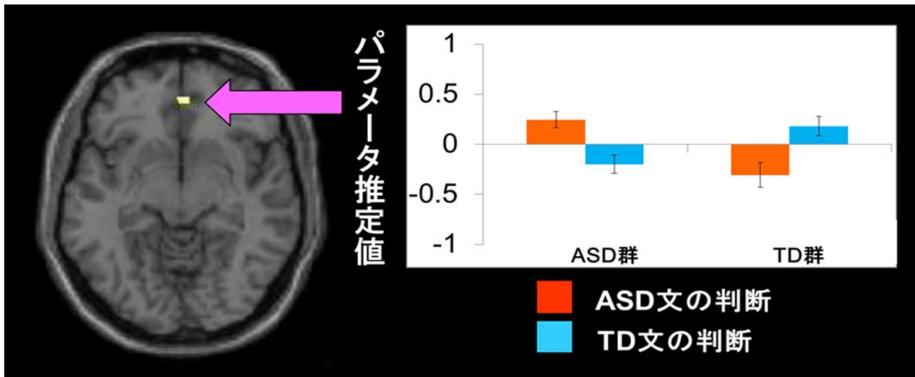
23

選好性(preference)の違い

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
岩尾	6	5	9	3	10	3	5	8	49
後藤	5	4	8	7	11	7	6	9	57
又吉	12	4	5	3	8	6	10	7	55
綾部	11	12	5	4	8	5	9	9	63
原西	8	6	9	4	6	12	13	7	65
藤本	10	2	7	9	6	9	5	8	56



24

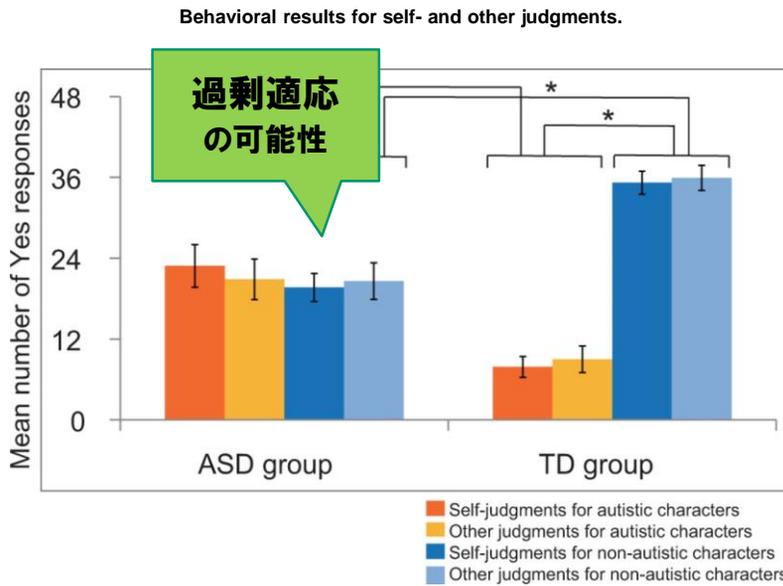


ASD群がASD文を判断し、TD群がTD文を判断する際に、腹内側前頭前野が有意に活動しました。

(京都大学のウェブサイトより引用)

Komeda H et al. Soc Cogn Affect Neurosci
2014;scan.nsu126

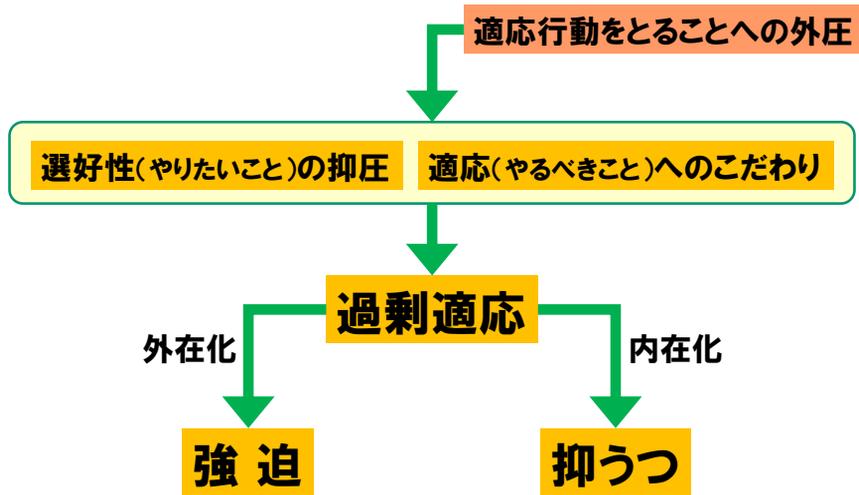
25



Komeda H et al. Soc Cogn Affect Neurosci
2014;scan.nsu126

© The Author (2014). Published by Oxford University Press.

Social Cognitive and
Affective Neuroscience



「こだわり→過剰適応→二次障害」の連鎖

27

「やりたいこと」と「やるべきこと」

- 自閉スペクトラムの人は、やりたくて始めたはずなのに、つい自分でノルマを課してしまいがち
- ストレスが強い環境では、「やりたいこと」と「やるべきこと」が混然となることがある

28

発達障害の人たちの過剰適応

- 発達障害の人たちにとって現代の日本は、集団のなかで息をしているだけでも、相当なストレスを感じる社会。
- 一見ふつうに振る舞うだけで、すでに過剰適応していると言っても過言ではない。

29

「みんなも我慢している」は、虚構

みんなは、

発達障害の人たちほどには

我慢していない

30

ASDの小中学生では、 登校拒否行動の出現割合が高い

	ASD (N=68)	定型発達 (N=127)	p値
小学生	11 (31.4%)	5 (6.8%)	0.001
中学生	18 (54.5%)	4 (7.4%)	0.000
計	29 (42.6%)	9 (7.1%)	0.000

(Munkhaugen EK et al, 2017)

31

発達障害の人たちとのつきあい方

32



33

(本田秀夫, 日戸由刈監修: ADHDの子の育て方のコツがわかる本. 講談社, 2017)

珍しく忘れ物がなかった！

- ラッキーだったと喜ぶ
- でも、次回以降は徐々に忘れ物が減るだろうと、決して期待してはならない

34

普段はルーズでいい加減

でも、

だけ

肝心なときは絶対に失敗しない！

35

支援の目標

「コツコツ」よりも「一発勝負」

「前もって」よりも「ギリギリセーフ」

36

やればできる！

周囲の視点

・・・だから普段からちゃんとやってほしい

本人の視点

・・・だから普段はやらなくてもいい

37

社会参加可能性を測る目安

自律スキル

自分にできることは意欲的にやる
できないことは無理しない

ソーシャルスキル

できないことを相談できる
人として最低限守るべきルールを守る

38



視覚的構造化による服薬の自己管理

39

思春期以降の支援方針

“支援つき試行錯誤”

40

支援つき試行錯誤

- 共感しながら試行錯誤につき合う
- 情報提供と考えの整理は行うが、助言は控える

41

試行錯誤：定期的の方針の見直しを

- 方針の候補は、必ず2つ以上考えておく
- SOSのサインに敏感になる
- 失敗しても、絶対に本人を責めてはいけない

42

本人の認知様式に合わせた環境調整

- 理解しやすいモダリティ
- 理解しやすい用語と言い回し
- 理解しやすい筋道
- 自分で熟考して判断することの保障
- 意欲を持てるテーマや題材
- 感覚異常への配慮

43

接し方のポイント

- (1) 先に本人の言い分を聞く
- (2) 命令でなく提案する
- (3) 言行一致を心がける
- (4) 感情的にならない
- (5) 情報を視覚呈示する
- (6) 見えにくいことを言語(書面)で構造化する
- (7) こだわりはうまく利用する



44

身のまわりが片づけられない

実害が及ばない限り、大目に見る



45

どうしても仕事をためてしまう

優先順位をつけることが得意
ではないので、上司がアドバイ
スを



46

「これがしたい」という衝動を抑えられない

衝動のきっかけになりそうなものを、なるべく排除する



何かに集中しすぎてしまう

結果で評価できる職場に配置する



企画書が書けない

文書作成は最もハードルが高い
仕事と割り切る



51

口頭での指示が理解できない

箇条書きなどにして、本人にわ
かりやすい伝え方を



52

悪気はないのに、つい失礼な発言をしてしまう

なぜいけないかを穏やかに論理的に説明する



53

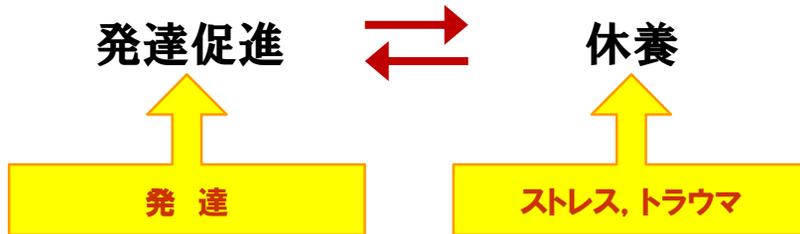
すぐにテンパってしまう

ストレスフルな環境にいか確かめる



54

治療・支援:2つの視点



55

インクルージョンの理念と教育

- 人はみんな多様だから、
参加の仕方はみんな違ってよい
- すべての人が居心地よく参加できるように、
ときにオーダーメイドの支援が必要

→ 特別な教育上のニーズ

<サラマンカ宣言より要約> 56

ユニバーサルデザイン

障害の有無を問わず参加可能な環境づくり

- 段差のない道路，エレベータのある建物
- 音声のでる信号機
- 点字ブロック

57

合理的配慮

個別の配慮によるインクルージョン促進

- 手話通訳
- 教科書の音読ソフト
- 身体障害の子どもへの体育

58

少数派の学習や交流の場の保障

一般の人たちとは異なる独自の学習や交流

- 特別支援教育
 - 手話や点字の学習
 - 知的障害に対する教科学習・生活学習
- 当事者同士の仲間づくり

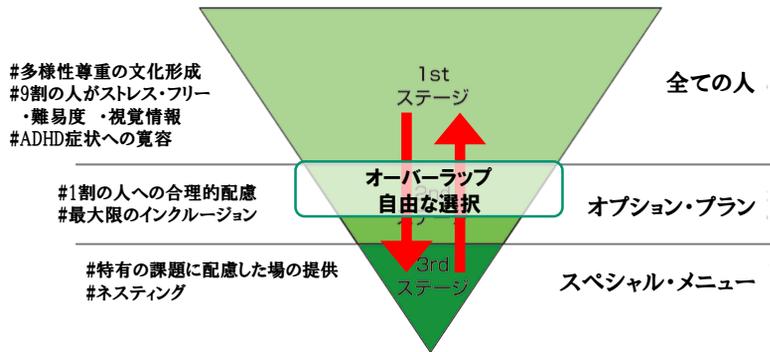
59

現在の「居場所づくり」等の問題点

- 学童期まで、発達障害の児童にベスト・フィットした居場所の提供に否定的
 - できる限り通常学級で頑張る、限界が来たら特別支援学級・通級指導教室へ
 - 通級指導教室は、通常学級でうまくできるようなるための仮の場所
- 不登校傾向が表れて、はじめて別の居場所が提供される
 - 「学習の場所」より「避難場所」の色合いが強い
 - 疲れや二次的なメンタルヘルスの問題への対応に比重

60

発達障害の人たちに対する多層支援モデル

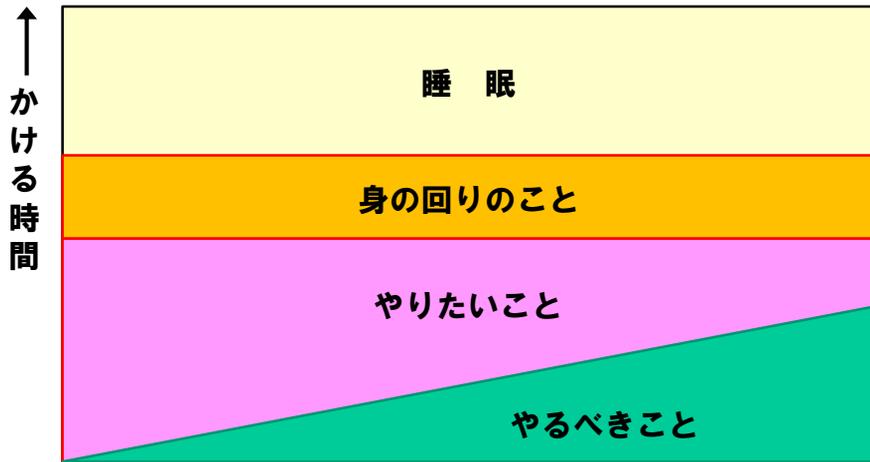


61

成人期の発達障害者支援の課題

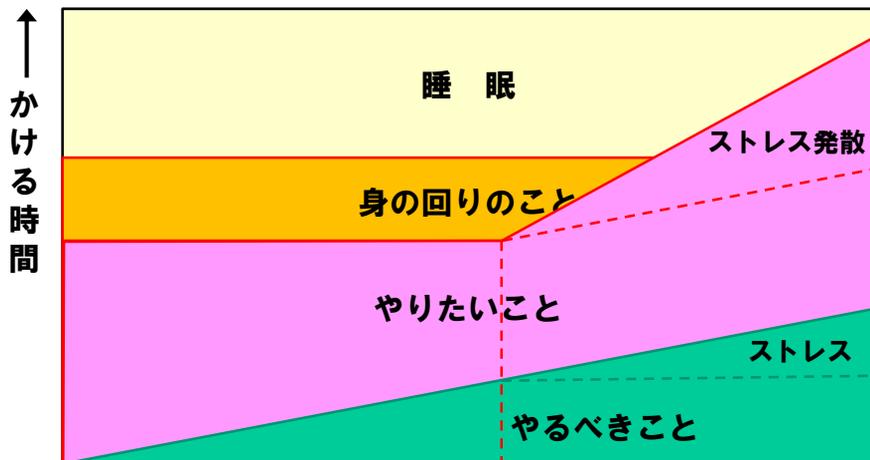
- 就労中心の支援に偏り過ぎている
- 発達障害の特性に特化した生活支援・余暇活動支援の仕組みが不十分
- QOL (Quality of Life) / 生きがいに関する研究が少ない

62



やるべきこととやりたいことの時間の関係
— 通常の人の場合 —

63



やるべきこととやりたいことの時間の関係
— 自閉スペクトラムの人の場合 —

64

自閉スペクトラムの人の 健康でハッピーな生き方

- プライベートタイムを最優先する
- やりたいことから順にやる
- 睡眠はちゃんととる
- やるべきとわかっていても気が進まないことは、余った時間にする

65

自閉スペクトラム, ADHDの人たちの生活設計

Work-Life Balance ではなく

Duty-Fun Balance で考える

66

発達障害の人たちの就労スローガン

- 仕事は遊び半分でやれ
- 仕事は休み休みやれ
- スタートダッシュは、絶対にするな

67

発達障害の人にとって
能力と収入は比例するとは限らない

金運に恵まれない人は、

正々堂々と福祉制度を利用しよう！

68

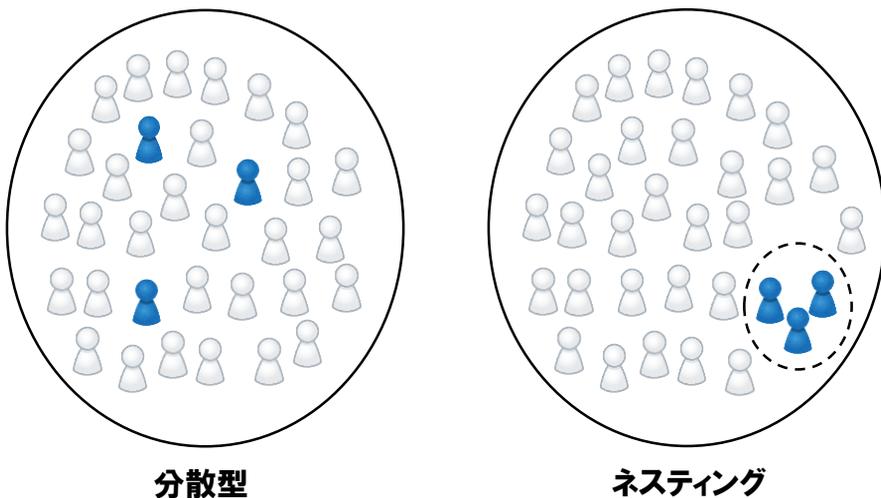
コミュニティケア促進のキーワード

ネスティング (nesting)

活動拠点 (nest)となるサブ・コミュニティを計画的に新規作成し、コミュニティの中に入れ込むこと

(本田ら, 2009)

69



インクルーシブかつアイデンティティの
保障されたコミュニティづくり

70



特定非営利活動法人
ネスト・ジャパン

個性的な人たち、発達に偏りや遅れのある人たちとその家族や支援者の仲間づくり、活動拠点づくり、ネットワークづくりを支援する団体です。余暇活動・学習支援・個別相談・学習会などを行います。



こころのサポートセンター・ネストやまなし

TEL.055-267-6903
〒400-8121 山梨県甲府市南一丁目200番地

特定非営利活動法人 発達障害サポートセンター
こころのサポートセンター(株)

トップページ について 事業内容 採用情報 プログラム 研修・協働機関 アクセス




71

知的障害の人たちの余暇活動支援 あるある

支援者の気持ち

「ふだん経験できないことを経験させてあげたい」

実際の活動:

外食、ボウリング、バーベキュー、キャンプ

当事者の気持ち

「はじめてやって、楽しかった」

「でも早く戻っていつもやっている楽しいことをやりたい」

72

発達障害の人たちが、 放っておいてもやりたがることは？

鉄道関係

アニメ・漫画

インターネット

ゲーム

…支援者がこれらを提案することは、少ない？

73

鉄友会

月に1回定期的に集まって、鉄道に乗った報告や、自分の好きな鉄道の話を発表します。

実際に鉄道の旅の計画を立て、皆で出かけることもあります。

(旅の様子については、[こちら](#)をご覧ください。)



アニメ漫画クラブ

自分の好きなアニメや漫画の話をする場所です。

- ・最近ハマっているアニメや漫画の話
- ・最近見たアニメ映画の話
- ・参加したイベントの報告
- ・聖地巡礼報告
- ・アニメや漫画のグッズを披露する

などなど、みんなそれぞれ楽しみながら交流しています。

[アニメ漫画クラブ初代ポスターです→](#)



74

支援者の役割

少数派である発達障害の人たちと

多数派向けに構成された社会との

インターフェイス



75

参考図書

専門家向け

「アスペルガー症候群のある子どものための 新 キャリア教育
—小・中学生のいま、家庭と学校でできること—」

本田秀夫, 日戸由刈(編著) 金子書房(2013年)

「子どもから大人への発達精神医学—自閉症スペクトラム・
ADHD・知的障害の基礎と実践」

本田秀夫(著) 金剛出版(2013年)

「発達障害の早期発見・早期療育・親支援」

本田秀夫(編著) 金子書房(2016年)

「知的障害・発達障害のある子どもの住まいの工夫ガイドブック
—危ない! 困った! を安全・安心に—」

西村顕, 本田秀夫(著) 中央法規(2016年)



76

参考図書

専門家向け

「知ってほしい 乳幼児から大人までのADHD・ASD・LD ライフサイクルに沿った 発達障害支援ガイドブック」

齊藤万比古, 小枝達也, 本田秀夫(編集)
診断と治療社(2017年)



「こころの医学入門: 医療・保健・福祉・心理専門職をめざす人のために」

近藤直司, 田中康雄, 本田秀夫(編集)
中央法規 (2017年)



「自閉スペクトラム症の理解と支援 一子どもから大人までの発達障害の臨床経験から」

本田秀夫(著) 星和書店 (2017年)



77

参考図書

一般向け

「自閉症スペクトラム—10人に1人が抱える「生きづらさ」の正体—」

本田秀夫(著) SB新書 (2013年)



「自閉症スペクトラムがよくわかる本」

本田秀夫(監修) 講談社 (2015年)



「大人の自閉症スペクトラム」(DVDセット全3巻)

本田秀夫(監修) NHK厚生文化事業団 (2016年)



「なぜアーティストは生きづらいのか? —個性的すぎる才能の活かし方—」

手島将彦, 本田秀夫(著) リットーミュージック (2016年)



78

参考図書

一般向け

「自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本ー幼児・小学生編」

本田秀夫, 日戸由刈(監修) 講談社 (2016年)



「自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本ー思春期編」

本田秀夫, 日戸由刈(監修) 講談社 (2016年)



「ADHDの子の育て方のコツがわかる本」

本田秀夫, 日戸由刈(監修) 講談社 (2017年)



「ひとりひとりの個性を大事にする にじいろ子育て」

本田秀夫 講談社 (2018年)



79

参考図書

一般向け

「発達障害がよくわかる本」

本田秀夫(監修) 講談社 (2018年)



「発達障害ー生きづらさを抱える少数派の『種族』たちー」

本田秀夫(著) SB新書 (2018年)



「最新図解 女性の発達障害サポートブック」

本田秀夫, 植田みおり(著) ナツメ社 (2019年)



「あなたの隣の発達障害」

本田秀夫(著) 小学館 (2019年)



80